

第2学年通信

第6号 平成27年9月30日(水)

ホームページ <http://www.nc.isesaki-hs.gsn.ed.jp/>

小林先生からのメッセージ

授業では1組と3組の国語を担当しています。他のクラスの生徒とはあまり馴染みがないけれど、補習や部活動、行事を通して顔見知りも増えて嬉しく思っています。

さて、修学旅行が近づいてきました。やはり高校生活最大のイベントですから、皆さん一人ひとりが、一生忘れない、宝物のような思い出を作ってほしい。私も生徒の頃、初めて訪ねた関西旅行で、真っ青な秋空に映えていた薬師寺の東塔や、友と語り合った特別な日々の光景が今もまぶたに焼き付いています。

教員になって、何度か修学旅行を引率し、様々な経験をしました。そんな中に、いつも思い出がある出来事があります。

これは他でも書いたのですが、初任校で、初めて奈良・京都へ行った時のことです。ある生徒が、夜の新京極の、土産物屋が建ち並ぶ雑踏で、お金を落としてしまった。それはその子の祖母が、餞別にくれた一万円札で、おみくじを結ぶ時のように畳んであった。何かの拍子に財布か鞆から落ちたのか。気がついて慌てて探したが、出てくるはずもない。名前が書いてあるわけでもない。交番に届けてもそれが有効な手段とも思えなかった。それでも一応交番へ行きました。

すると対応した警察官は、生徒に向かって思いがけないことを言いました。「おみくじみたいに結んだ一万円札ですね。ここに連絡先を書いてください。大丈夫。きっと出てきますよ。」外出時間は限られている。そのままホテルに戻り、群馬に帰ってきました。

翌々日、京都から連絡が来た。なんと、落とした一万円札を拾って、届けてくれた人がいたというのです。勿論みんなで感激しました。

正直、私は出てくる筈ないと考えていたので、感激する一方で内心少々恥じ入りました。人の親切や好意をいつの間にか見限るようになっていた自分に対してです。拾い主は、不覚にもお金を紛失した人の悲しみに当たり前に同情できる人で、当然の行動をとったまでだったのでしょう。交番の警察官もきっと普段から思いやりをもって人に接する人でした。名も顔も知らない拾い主と行きずりの警察官との交流は、その生徒にとって今も宝物のような思い出になっていると思います。

保護者の皆さんへ

生徒達は、本格的に進路について考え、決めていかなければならない時期になってきました。我々職員も面談等を通じてアドバイスをしていこうと考えていますが、保護者の皆さんもお子さんと話し合ってください。お願いします。

日	曜日	10月の行事予定	備考
1	木		
2	金		
3	土	修学旅行	
4	日	修学旅行	
5	月	修学旅行	
6	火	修学旅行	
7	水	10月4日の代休	
8	木		
9	金	英検一次試験	学生スクールカウンセラー
10	土	土曜補習(1・2年)④	
11	日		
12	月	体育の日	
13	火		
14	水	ワックス②(5分短縮)	スクールカウンセラー
15	木	生徒総会	
16	金		学生スクールカウンセラー
17	土		
18	日		
19	月		
20	火		
21	水	中間考査	
22	木	〃	
23	金	〃	
24	土	土曜補習(1・2年)⑤	
25	日		
26	月	今週のコラム-特別号③	
27	火		
28	水	県民の日	授業日ではありません
29	木		
30	金		学生スクールカウンセラー
31	土	群馬県総合文化祭総合開会式 進研模試(1・2年)	

今回の学年通信は、小林透先生にお願いしました。小林先生は、3組の副担任で国語の先生です。昨年度は3年生の担任をして卒業生を出しました。本校では3年目ですが、経験豊富なベテランの先生です。間近に迫った修学旅行では、総務係として皆さんの修学旅行が意義深いものになるよう考えている先生です。